

# 市町村合併を契機にした コミュニティバスの再編

平成23年12月22日  
豊川市市民部地域安心課

# 豊川市の概要

位置	愛知県南東部
市域面積	1 6 0 . 7 5 平方キロメートル
人口(10月末現在)	約 1 8 5 , 6 9 0 人

## 最近の市町村合併の状況

- 平成 1 8 年 2 月 宝飯郡一宮町と合併
  - 平成 2 0 年 1 月 宝飯郡音羽町・御津町と合併
  - 平成 2 2 年 2 月 宝飯郡小坂井町と合併
- 5 年間で 3 回の合併を行い現在にいたる。

# 豊川市の公共交通に関わる問題点

- ◎ 検討前の市のバス路線は合併前の状態のまま  
であること

旧豊川市 北部線

旧音羽町 音羽地区コミュニティバス

旧御津町 御津地区福祉乗合タクシー

旧一宮町 一宮健康福祉センター送迎バス

それぞれの地区で独自に運行されており、料金  
体系や運行日程が異なって運行されている。

それぞれの路線が接続されていない。

# 新規運行計画策定までのタイムスケジュール

平成21年2月 豊川市地域公共交通会議設置

平成21年8月 「公共交通に関する市民アンケート調査」の実施

送付実績 4,150世帯

約9,660人

有効回収数 3,044人

有効回収率 31.5%

平成21年10月 バス利用者アンケート調査の実施

配布実績 466人

有効回収数 216人

有効回収率 46.4%

- 平成22年2月 地域での意見交換会の開催  
中学校区ごとに9会場で実施
- 平成22年3月 「公共交通に関わる基本的な考え方」の策定
- 平成22年6月 小坂井地区市民アンケート調査の実施
- |       |         |
|-------|---------|
| 送付実績  | 1,700世帯 |
|       | 約3,400人 |
| 有効回収数 | 892人    |
| 有効回収率 | 26.2%   |
- 平成22年11月 地域での意見交換会の開催  
中学校区ごとに10会場で実施

平成23年1月 「豊川市地域公共交通総合連携計画」案の作成

平成23年2月 「豊川市地域公共交通総合連携計画」案パブリックコメントの実施

平成23年2月 「地域公共交通総合連携計画」案に関する地域説明会の実施  
市内6会場で実施

平成23年3月 「豊川市地域公共交通総合連携計画」の策定

平成23年6月 基幹路線6路線、地域路線3路線の運行計画案の策定

平成23年8月 コミュニティバスシンボルキャラクター  
の募集実施(応募件数82点)

平成23年10月 運行計画に関する地域説明会の  
実施

中学校区ごとに10会場で実施

平成23年10月27・28日

試験運行の実施

平成23年10月31日

運行開始式の開催

平成23年11月1日

基幹路線6路線、地域路線3路線の  
運行開始

# 豊川市地域公共交通総合連 携計画の概要

# 基本的な方針

## 基本方針

市域全体の一体性を高める路線と地域に合った路線を、それぞれの役割に応じたサービスで導入

## 基本方針

行政、交通事業者、市民・地域・利用者が、それぞれの役割により協働で公共交通を支える仕組みづくり

## 将来像

市域全体を一体化し、  
みんなで支える  
公共交通ネットワークづくり

## 基本方針

公共交通の利便性を高め、移動制約者が移動しやすい交通体系

## 基本方針

定期的な公共交通の評価の実施、継続的な路線の見直し・改善

# 地域公共交通総合連携計画の目標

鉄道や民間バス路線と連携し、各路線の役割分担を明確にして公共交通ネットワークをつくります

人口や施設の分布状況により、市域をいくつかのエリアに分けて路線をつくります

市民の移動ニーズやまちの活性化など、目的に合った路線とします

地域特性や需要に応じた交通システムを採用します  
利用しやすい料金体系にします

地域で必要な路線の運行確保は、地域主体とします  
公共交通利用促進に繋がる様々な取り組みを行います

# 数値目標

- ・目標の達成度を測るため、4つの数値目標を設定します。
- ・個々の目標達成度合を総合的に評価して、目標達成のために行う事業の改善に反映します。

目 標		数 値 目 標		
		短期3年後 (H25年度)	中期6年後 (H28年度)	長期10年後 (H32年度)
目標1	市内を運行するバス路線の利用者数の増加	9万人/年	11万人/年	13万人/年
目標2	公共交通の利便性の市民満足度の向上	48%	50%	52%
目標3	地域主体で検討したバス路線の運行実施地域数の増加	4地区	5地区	6地区
目標4	市内を運行するバス路線の収支率の向上	13%	15%	17%

# 路線の区分

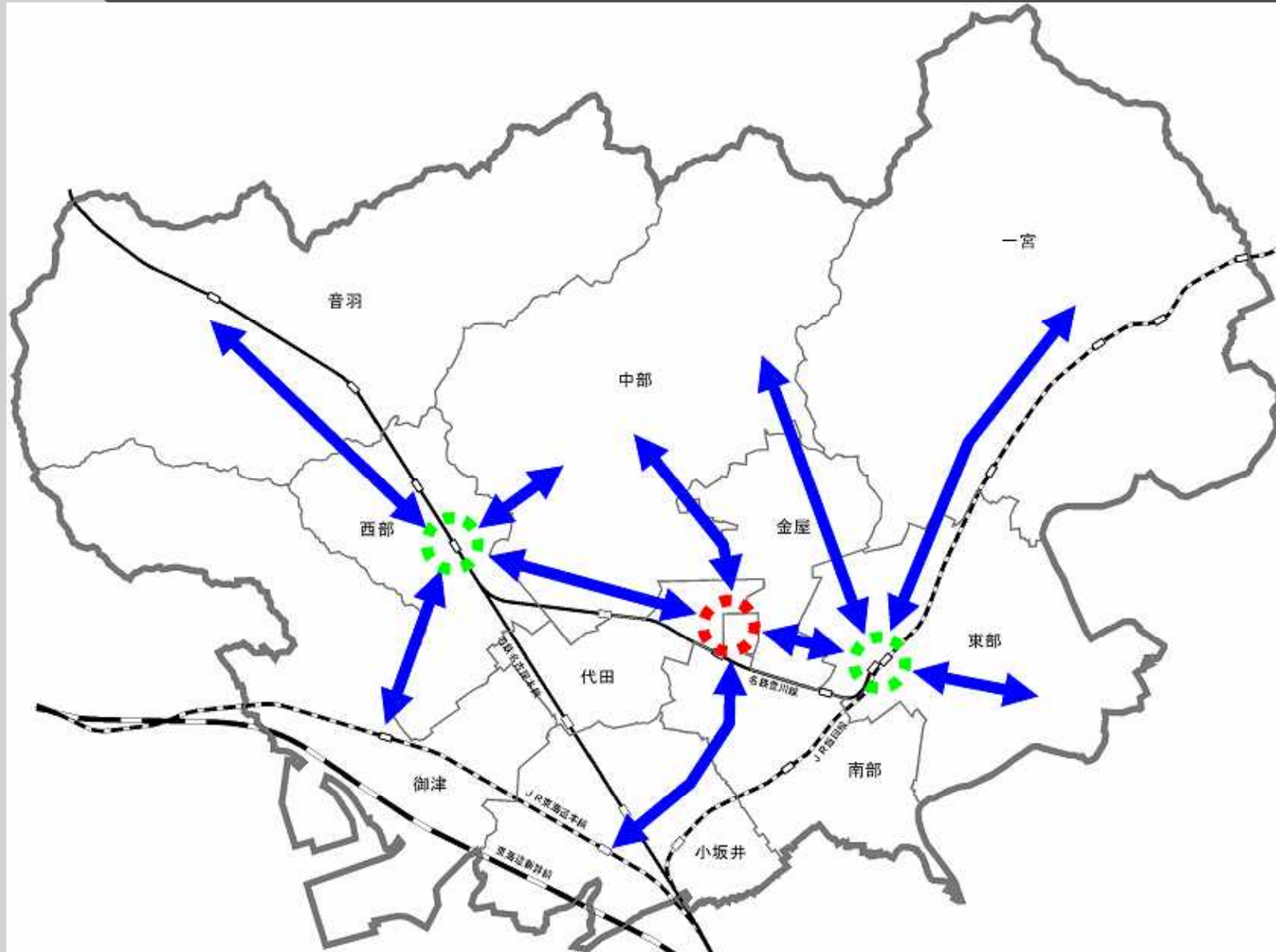
・交通結節点を軸にしなが、路線の役割を広域路線、基幹路線、地域路線に区分し、市域全体の公共交通ネットワークをつくります。

区 分	役 割	対 象
広域路線	市内と市外を結ぶ路線で、広域的な移動の役割を担う路線。 鉄道と民間バス事業者が主体となって運行。	・JR東海道本線・飯田線 ・名鉄名古屋本線・豊川線 ・豊鉄バス新豊線 ・名鉄バス東部西浦豊橋線
基幹路線	地域の拠点を相互に連絡する役割を担い、市内の交通結節点と主要施設を結ぶほか、広域路線への接続を担うバス路線。	・行政が検討
地域路線	小中学校区のエリア程度の地域内を運行し、広域路線や基幹路線の交通結節点への接続を担うバス路線	・地域においてそれぞれの地域が検討
交通結節点	異なる公共交通手段や路線の乗り換えのための役割を担う場所 行政と交通事業者などが協力して確保	・市役所や各支所付近 ・市街地の主要施設 ・主要な鉄道駅

## 基幹路線の新設

- ・短期計画では、通院、買物目的などの日中の移動に対応した実証運行を開始します。
- ・中長期計画では、通勤・通学目的も利用対象として拡大し、適切なサービス水準を確保していきます。
- ・実証運行時の基本的考え方
  - ・運行ルート：移動ニーズの骨格に合わせて設定
  - ・運行時間帯：7：30～19：00
  - ・運行本数：1～2時間に1本
  - ・運行車両：小型バス、又はジャンボタクシー
  - ・料金体系：公平な料金負担の設定

# 移動ニーズの骨格



# 地域路線の新設

- ・地域住民が移動手段の必要性を認識し、その確保と活用に向けた地域住民の主体的な取り組みにより、準備が整った地域から順次実証運行を開始します。

## ・地域の役割

- ・(仮)地域協議会の立ち上げ、(仮)地域協議会が主体となった地域路線の検討
- ・継続的な地元意見の収集・集約、関係機関との意見交換の実施

## ・行政の役割

- ・積極的に取り組む地域に対する情報提供や助言
- ・地域路線の運行に必要な事務手続き、関係機関との調整
- ・地域路線の運行維持のための運行経費の負担

## 地域路線支援の条件

- ・運行経費の負担は上限を設け、地域路線はその範囲内での計画を基本とします。

運行経費の上限 年1,000万円

- ・運行の効率性を見る指標として、収支率の目標値を設定します。

収支率の目標 15%



# 平成23年11月1日からの運行 内容

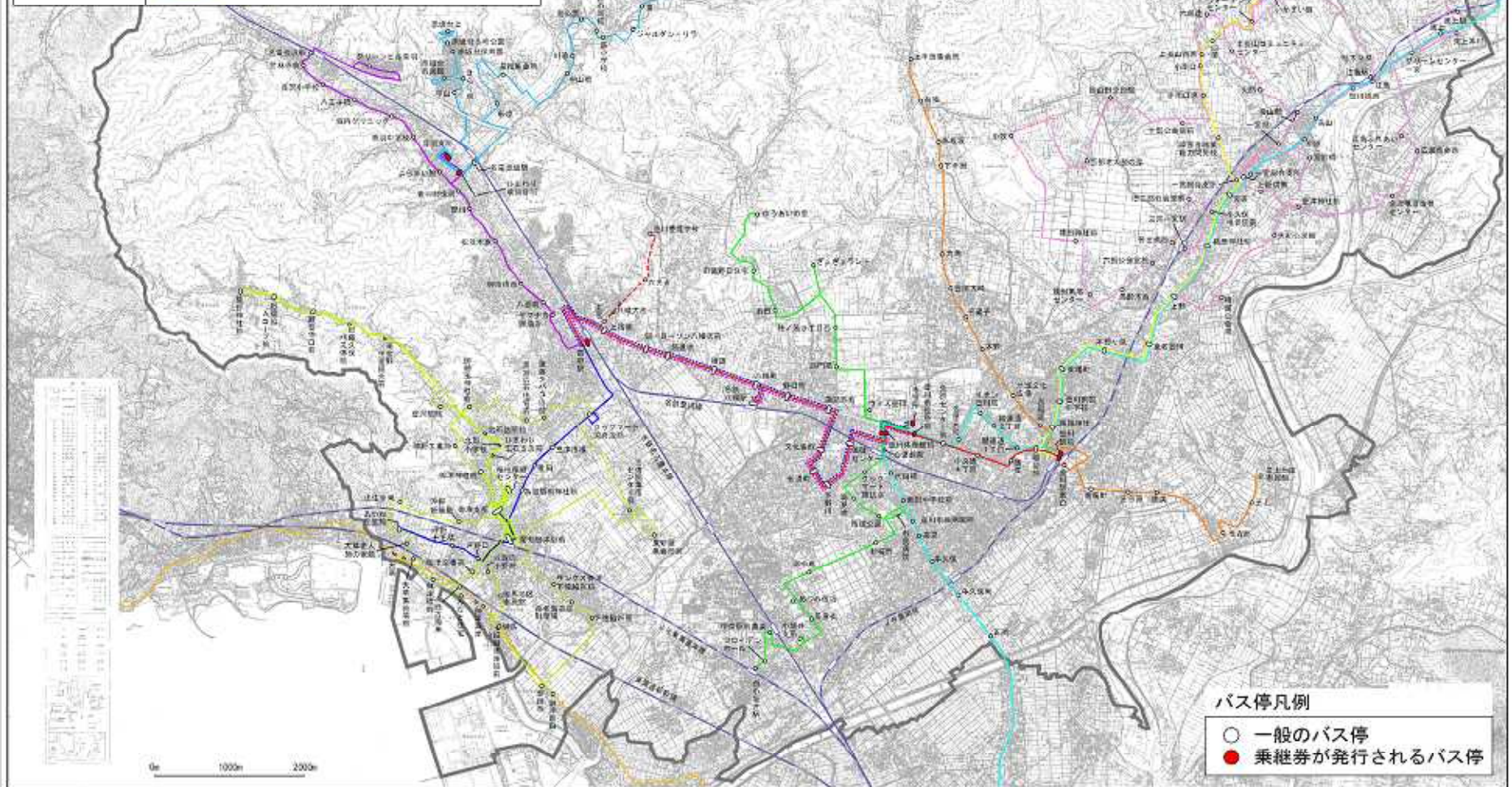
# 基幹路線の概要

		延長 (km)	所要時 間(分)	往復運 行本数	車両 台数	使用車両
豊川国府線		10.4	40	7	1	小型バス
	豊川養護学校経由	2.5	10	3		
一宮線		9.0	25	4	1	中・大型バス
千両三上線		11.3	35	6	1	ジャンボタクシー
ゆうあいの里小坂井線		14.5	45	5.5	1	ジャンボタクシー
音羽線	国府駅止まり	9.0	40	4	1	ジャンボタクシー
	市役所直通	17.5	70	4		
御津線	国府駅止まり	5.9	20	4	1	ジャンボタクシー
	市役所直通	14.4	50	4		

# 市内バス路線網全体図



基幹路線		豊川国府線 (国府駅～豊川駅前)
		豊川国府線 (国府駅～豊川養護学校)
		千両三上線
		ゆうあいの里小坂井線
		一宮線
		音羽線  (市役所まで延長)
地域路線		音羽地区 つつじバス
		御津地区 ハートフル号
		一宮地区 本宮線のんほい号
民間バス路線		豊鉄バス新豊線・豊川線
		名鉄バス東部西浦豊橋線



バス停凡例

	一般のバス停
	乗継券が発行されるバス停

# 料金体系の考え方

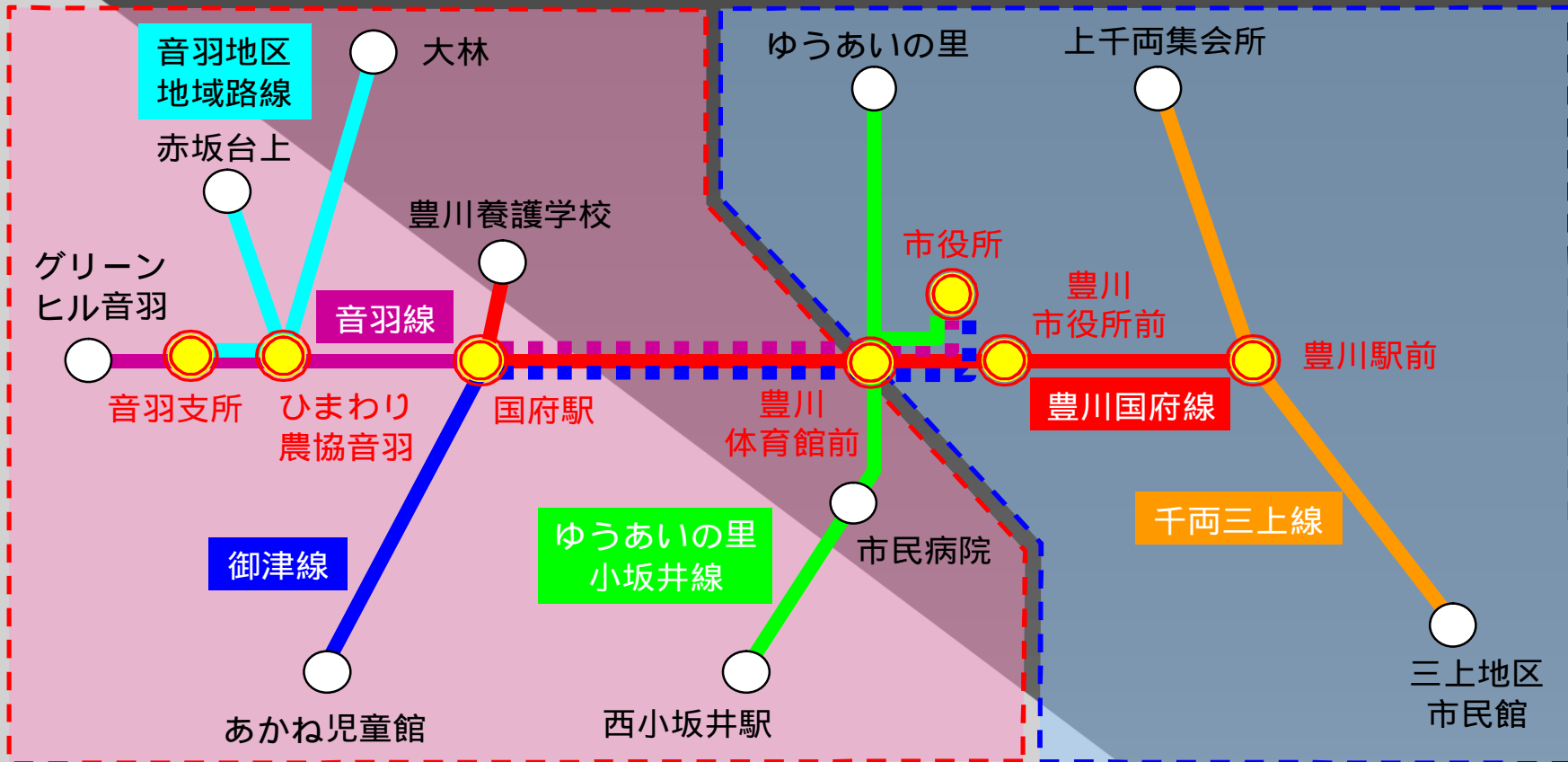
- ・市の中心部までは、各地区から同じ料金で利用できるようにします。
- ・市内を東西2つのゾーンに分けるゾーン制の料金体系とします。
- ・市の中心部の「豊川体育館前バス停」でゾーンを分けます。

## ・料金設定

- ・初乗り：200円、ゾーンをまたぐ場合：100円加算
- ・片道料金の最大は300円となります。
- ・2路線以上を乗り継いでも同じゾーン内のみの場合は200円となります。

# 西ゾーン

# 東ゾーン



200円

200円

< 1つのゾーン内の利用 >

300円

< 2つのゾーンをまたいだ利用 >



乗継券発行バス停

# 地域路線の概要

## 音羽地区地域路線の概要

地区名		音羽地区
地域協議会	名称	音羽地域公共交通運営協議会
	設立年月日	平成22年11月24日
バス停数		22か所
所要時間		約40分
走行距離		12km
運行日		毎日
運行本数		7.5本
使用車両		ジャンボタクシー(10人乗り)
料金		200円

# 御津地区地域路線の概要

<b>地区名</b>		<b>御津地区</b>		
<b>地域協議会</b>	<b>名称</b>	御津地域路線運営協議会		
	<b>設立年月日</b>	平成22年12月14日		
<b>バス停数</b>		35か所		
<b>所要時間</b>		金野・北部小線 約15分 金野・豊沢線 約35分 赤根・大草線 約40分 下佐脇・御馬線 約40分 上佐脇・広石線 約25分		
<b>走行距離</b>		6.1km	6.7km	14km
<b>運行日</b>		月～金曜日	月、水、金曜日	火、木、土曜日
<b>運行本数</b>		1本/日	6本/日	6本/日
<b>使用車両</b>		ジャンボタクシー(10人乗り)		
<b>料金</b>		100円		

# 一宮地区地域路線の概要

地区名		一宮地区
地域協議会	名称	一宮地域公共交通運営協議会
	設立年月日	平成23年2月24日
バス停数	38か所	
所要時間	東回り 約44分      西回り 約55分	
走行距離	20.85km      22.97km	
運行日	火、水、木、土曜日運行	
運行本数	4本/日	
使用車両	ジャンボタクシー(10人乗り)	
料金	100円	

# 親しみやすいコミュニティバスとするために

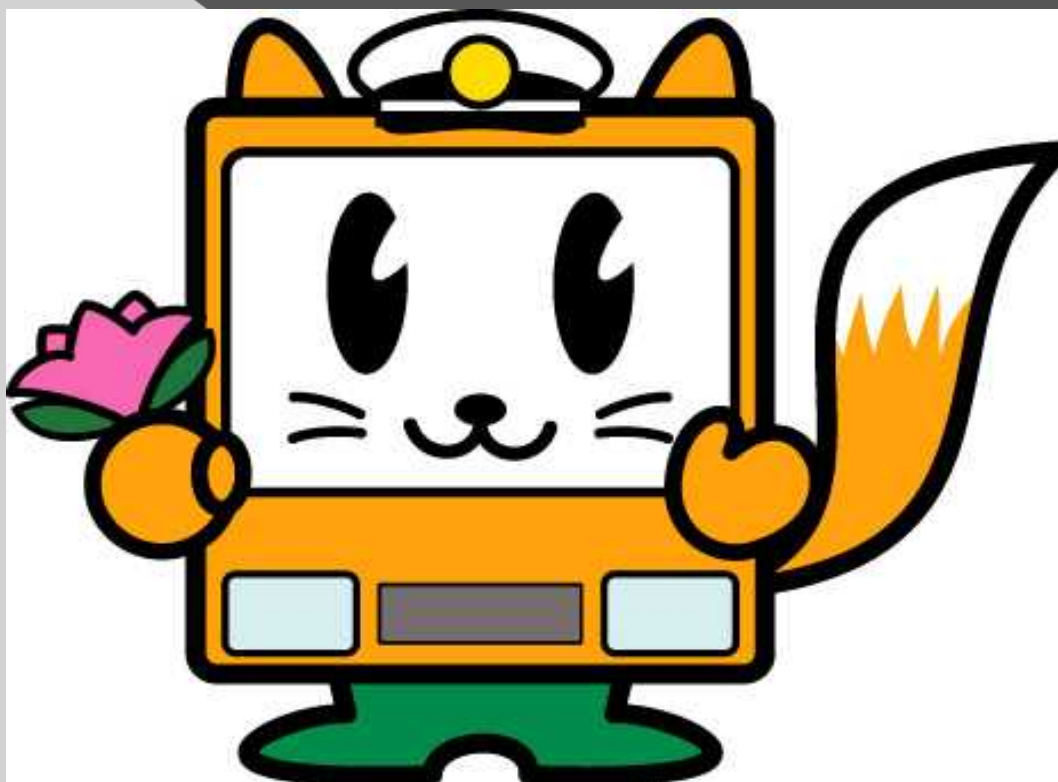
## バス停への工夫

バス停のヘッドパネルを車両の形とするとともに、ピンク色に統一



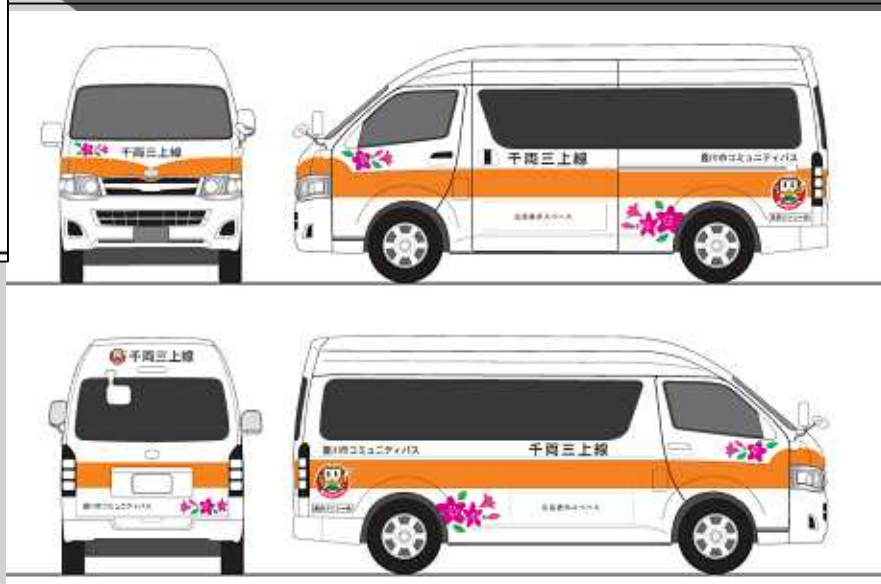
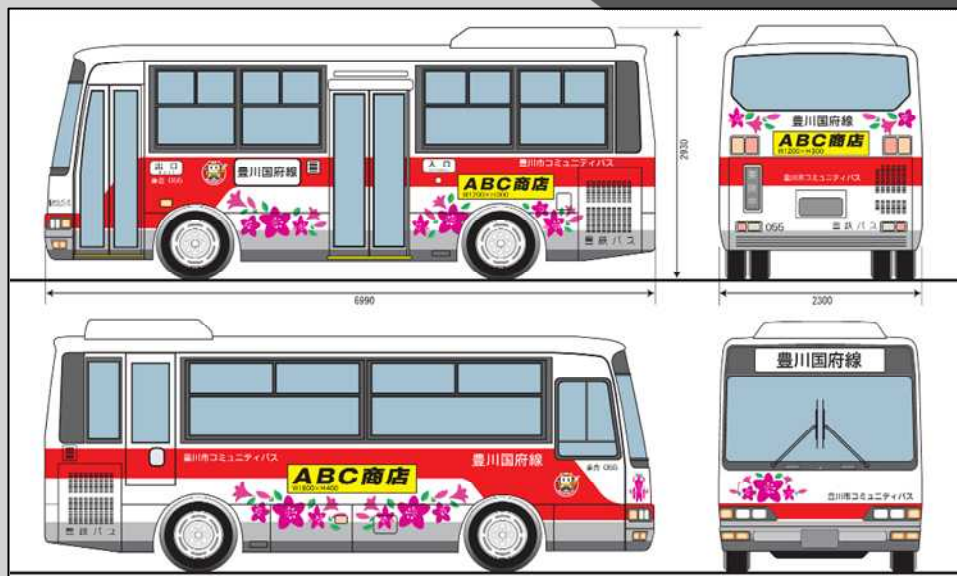
## コミュニティバスのシンボルキャラクターの設定

キャラクターをバス車体、バス停、時刻表などに活用し、市民の方々に親しまれるよう工夫をしています。



## 運行するバスのラッピング

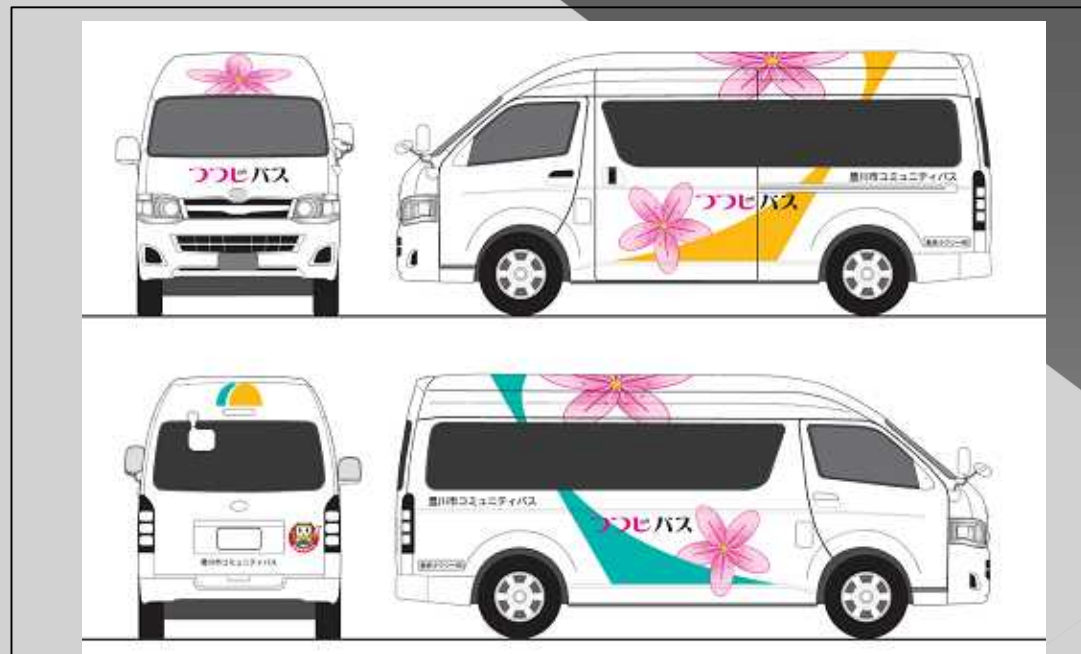
各路線が色で識別できるようにするとともに、市の花をデザインに加え、乗って楽しい車両をめざしています。



地域路線の車両の名称やラッピングデザインについては、地域で検討しました。

## 地域路線の名称

音羽地区	つつじバス
御津地区	ハートフル号
一宮地区	本宮線のんほい号





# 今後の課題

## 路線について

- ・新市民病院開設に伴う、広域路線も含めた基幹路線の運行経路の検討
- ・利用状況や利用者の要望把握による路線変更検討
- ・市民要望による路線延長などの検討

## 運賃について

- ・回数券などによる利用者の利便性の向上
- ・新たな支払い方法についての検討

## 運行時間、運行本数について

- ・利用状況の把握による運行時間や運行本数の検討